

**文部科学省「大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰」
最優秀賞受賞**

**京都産業大学
キャリア形成支援教育科目の改変に関する実践事例**

大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰（※）の概要について

（※） 前回まで「大学等におけるインターンシップ表彰」として実施。令和4年度の三省合意一部改正を受けて、令和5年度より名称変更

目 的

学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業等に普及するのに相応しいモデルとなり得る、産学協働による学生のキャリア形成支援活動を、グッドプラクティスとして表彰し、その成果を広く普及する。

公募期間：令和5年11月1日～11月30日

対象資格：「大学等における学生のキャリア形成支援活動届出制度」における取組を実施している大学・短期大学・高等専門学校

申請件数：26校（大学：24校、短期大学：2校）

表 彰：【最優秀賞】京都産業大学
【優秀賞】北海道大学、新潟大学、開志専門職大学
【選考委員会特別賞】大阪公立大学

大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰選考 基準・項目

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| ① 就業体験を伴うこと | ④ 実施後の教育的効果を把握する仕組みが取られていること |
| ② 正規の教育課程の中に位置付けられていること | ⑤ 5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間が確保されていること |
| ③ 大学等の組織的な取組として位置づけられていること | ⑥ 大学等と企業等が協働した取組となっていること |

京都産業大学の概要

(幼稚園・中学校・高校を除く)

学部構成 (学生数) (2023年5月1日現在)

10学部 学部全体 15,3234名

経済学部

FACULTY OF ECONOMICS

経営学部

FACULTY OF BUSINESS ADMINISTRATION

法学部

FACULTY OF LAW

現代社会学部

FACULTY OF SOCIOLOGY

国際関係学部

FACULTY OF INTERNATIONAL RELATIONS

外国語学部

FACULTY OF FOREIGN STUDIES

文化学部

FACULTY OF CULTURAL STUDIES

理学部

FACULTY OF SCIENCE

情報理工部

FACULTY OF INFORMATION SCIENCE
AND ENGINEERING

生命科学部

FACULTY OF LIFE SCIENCES

建学の精神

将来の社会を担って立つ人材の育成。全世界の人々から尊敬され、全人類の平和と幸福のために寄与する精神をもった人間を育成。「産業」を、創設者荒木俊馬は「むすびわざ」とも読ませ、大学の教育を、社会の営みに結びつけるものとして位置づけた。「むすびわざ」とは、モノ、コト、そしてヒトを新しい発想で結びつけ、新規の価値を社会に産み出すこと（イノベーション）を意味する。

特色

1年次から4年次まで、文系理系問わず学部・大学院全てが京都市北区上賀茂に集結している「**一拠点総合大学**」。学部学科の「**交流が学び**」の可能性を広げ、社会と「共創」するキャンパスで根幹的な力を養っている。

キャリア形成支援プログラム

導入・接続教育科目群

科目名	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
自己発見と大学生活								
ファシリテーション入門								
キャリア・Re- デザイン								

産学協働教育科目群

系統	科目名	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
キャリア デザイン系	スタートアップ・キャリアデザイン								
	自己発見とキャリアデザイン								
	働き方の未来								
	理工系スタートアップ・キャリアデザイン								
PBL 系	O/OCF-PBL1								
	O/OCF-PBL2								
	企業人と学生のハイブリッド								
インターン シップ・ キャリア 実習系	キャリア実習（インターンシップ実践型）								
	キャリア実習（職場体験型）								
	キャリア実習（自己開拓型）								
	キャリア実習（海外インターンシップ実践型）								
	キャリア実習（大学コンソーシアム京都連携型）								
	アスリートインターンシップ								

16科目

京都産業大学のキャリア形成支援教育プログラム

全学部・全年次
対象の16科目を
多くの学生が受講

(2023 年度)



3,734名

多くの教員が
科目を担当

(2023 年度)



97名

多くの企業・
団体と連携

(2023 年度)



350社

8割を超える連携企業・団体が
翌年度も継続

(2022 ～ 2023 年度)



88.2%

これまでに採択された「キャリア教育」に関わる補助事業

【文部科学省】 平成16年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」

日本型コ－オブ教育 – オン・キャンパス学習と就業体験との融合による「多層サンドイッチ方式」の展開 –

【文部科学省】 平成16年度「海外先進教育研究実践支援プログラム」

先進的キャリア教育の実践展開 – “キャリア支援インフラ”構築を目指して –

【経済産業省】 平成20年度「体系的な社会人基礎力育成・評価システム構築事業」

二段階方式実践的 P B L 型教育 -社会人基礎力を内面から高め、状況に応じ柔軟に活用できるようになるために-

【経済産業省】 平成21年度「体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業」

「スパイラルステップアップ（Spiral Step-up）社会人基礎力 – 社会人基礎力を内面から高め、状況に応じて柔軟に活用できるようになるために –」

【文部科学省】 平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」

「専門教育と融合したコ－オブ教育の全学展開」

【文部科学省】 平成24年度「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」

滋京奈地区を中心とした地域社会の発展を担う人材育成

【文部科学省】 平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」

産学協働教育による主体的学修の確立と中核的・中堅職業人の育成
（代表校：京都産業大学 連携校：新潟大学、成城大学、福岡工業大学）

これまでに表彰された「キャリア形成支援科目」

2014年：経済産業省「社会人基礎力を育成する授業30選」

「企業人と学生のハイブリッド」、「O／OCF-PBL」が選出

2015年：日本インターンシップ学会「榎本記念賞」（第1回）

「キャリア形成支援プログラムにおけるインターンシップ」が最も秀逸なインターンシップとして選出

2021年：日本インターンシップ学会「榎本記念賞」（第4回）

「理工系コオプ教育プログラム」が秀逸なインターンシップとして選出

2022年：UNIVAS AWARDS2021-22マイナビ賞

「アスリートインターンシップ」が「キャリア支援に関する優秀取組賞」を受賞

世界産学協働教育協会 世界大会開催



wace

第19回 世界大会

【主 催】

WACE(ウェイス:世界産学連携教育協会)

【開催日】

2015.8.19(水)～8.21(金)

【開催校】

京都産業大学

【テーマ】

グローバル社会を生き抜く力の育成をめざした
産学連携教育(CWIE)の確立に向かって


wace
advancing cooperative &
work-integrated education

 Keep Innovating.
KYOTO SANGYO
UNIVERSITY
Celebrating 50 years 1965-2015

最優秀賞 受賞対象科目

キャリア実習(職場体験型)

キャリア実習(インターンシップ実践型)



「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」

(令和4年6月13日一部改正 文部科学省・厚生労働省・経済産業省)

➤ インターンシップを核とした「学生のキャリア形成支援活動」を4つに類型化し、2023年度から、産学が連携・協働して、学生のキャリア形成支援活動を行っていくことについて、産学で合意（2022年4月）

< 4 類型の前提となる重要な共通認識 >

- タイプ1～4 はキャリア形成支援の取組みであって、採用活動ではない。学生は改めて採用選考のためのエントリーが必要
- タイプ1～4 からなる学生のキャリア形成支援は、産学が協働しながら、それぞれを推進していくことが重要
- 今回、政府が定める現行の「就職日程ルール」を前提に検討
- インターンシップ（タイプ3・4）に参加できる学生数は、就活予定者の一部であると（入社就職先でのインターンシップ参加経験がなくても、採用選考へのエントリーは可能）
学生等への周知が重要
- タイプ3は、産学協議会が定める基準を満たす場合に、募集要項等に「産学協議会基準に準拠したインターンシップ」と称し、「産学協議会基準準拠マーク」を付すことが可能
- 各タイプの活動を通じて取得した学生情報を採用活動に活用[※]することについて、「タイプ1・2は活用不可」「タイプ3・4は採用活動開始以降に限り活用可」
※例：採用活動へのエントリーに関する案内の送付、採用選考プロセスの一部免除等

		類型			
		タイプ1： オープン・カンパニー	タイプ2： キャリア教育	タイプ3： 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4（試行）： 高度専門型インターンシップ
主な特徴	①目的	個社や業界に関する 情報提供・PR	働くことへの理解を 深めるための教育	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、 企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の向上、 企業にとっては学生の評価材料の取得
	②代表的ケース (主に想定されるもの)	企業・就職情報会社や 大学キャリアセンターが 主催するイベント・説明会	- 大学が主導する授業・産学協働プログラム（正課・正課外を問わない） - 企業がCSRとして実施するプログラム	企業単独、大学が企業あるいは地域コンソーシアムと連携して実施する、適性・汎用的能力ないしは専門性を重視したプログラム	- ジョブ型研究インターンシップ（自然科学分野の博士課程学生を対象に文科省・経団連が共同で試行中） - 高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ（仮称）（産学協議会で検討中）
	③就業体験	なし	任意	必須 ★(a) 就業体験要件 学生の参加期間の半分以上を職場での就業体験に充てる（テレワークが常態化している場合は、テレワークも「職場」） ★(b) 指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後、学生に対しフィードバックを行う	必須
	④参加期間 (所要日数)	超短期（単日）	授業・プログラムによって異なる	★(c) 実施期間要件 (i) 汎用的能力活用型は短期（5日間以上） (ii) 専門活用型は長期（2週間以上）	- ジョブ型研究インターンシップ：長期（2カ月以上） - 高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ（仮称）：検討中
	⑤実施時期	時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮し、学士・修士・博士課程の全期間（年次不問）	学士・修士・博士課程の全期間（年次不問）。但し、企業主催の場合は、時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮	★(d) 実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年ないしは修士1年・2年の長期休暇期間（夏休み、冬休み、入試休み・春休み）」 但し、大学正課および博士課程は、長期休暇に限定されない	—
	⑥取得した学生 情報の採用活動 への活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可

★(e) 情報開示要件：タイプ3の実施にあたり、募集要項等に、以下の項目に関する情報を記載し、ホームページ等で公表

- ①プログラムの趣旨（目的）、
- ②実施時期・期間、場所、募集人数
選抜方法、無給/有給等
- ③就業体験の内容（受入れ職場に関する情報を含む）
- ④就業体験を行う際に必要な（求められる）能力
- ⑤インターンシップにおけるフィードバック
- ⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨（活用内容の記載は任意）
- ⑦当該年度のインターンシップ実施計画（時期・回数・規模等）
- ⑧インターンシップ実施に係る実績概要（過去2～3年程度）
- ⑨採用選考活動等の実績概要※企業による公表のみ

3. 2023年度からのインターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の遂行に向けて大学等で行っていただきたいこと

(1) 現在「インターンシップ」と称して実施している科目の点検・整理と、(必要に応じて) 科目名称の変更

- 4つのタイプのいずれに属する内容となっているか。
- インターンシップについては、新たな「インターンシップ」の定義(※)に見合った内容となっているか。
等について、インターンシップを称している現行の科目について点検し、4タイプのうち、どの取組にあたるかどうかを整理し、必要に応じて科目名称の変更をご検討ください。

(※) 学生がその仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか(自らがその仕事で通用するかどうか)を見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験(企業の実務を体験すること)を行う活動(但し、学生の学修段階に応じて具体的内容は異なる)

(2) 学生への周知

- インターンシップは就職・採用活動そのものではなく、入社希望先でのインターンシップ参加経験がなくても、採用選考へのエントリーは可能です。「インターンシップに参加しないと就職できない」という誤解を招かないよう、学生への周知の際はご注意ください。

本学における科目改変のプロセス

2022年6月：「三省合意」改正

2022年8月：科目改変の検討開始
（「キャリア教育センター運営委員会小委員会」設置）

2022年10月：科目改変の概要確定・学内手続き開始

2023年1月：企業対象の説明会開催

2023年4月：学生対象説明会開始・募集・選考

2023年5月：「キャリア実習（インターンシップ実践型）」
受入企業対象の説明会開催

2023年6月：授業開始

これまでの産学協働教育の積み重ねと教職協働

**当日は、文部科学省「大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰」最優秀賞を受賞した
科目内容について詳細にご説明します。**

事例紹介は以下の日時です。

6月19日（水） 16：00～16：40

皆さまのご参加をお待ちしております!!